

木材団地ニュース

2006.10 Vol.110

あたらしき大地

過ぎ行く秋（石川県白峰村）津田洋甫写真集「あきいろ」より



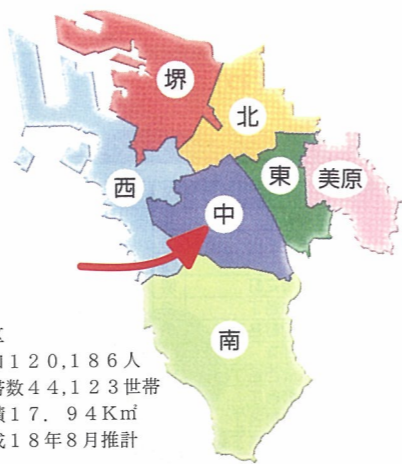
特集 堺

～次代の都市づくり～

CHECK UP 堺《中区》

2回目は「中区」を紹介します。
 中区は泉北高速鉄道深井駅を中心に東は福田、西は八田荘、南は宮山台、北は土師町と市域の中央部から泉北ニュータウンの間に位置し、昔から陶器川、伊勢路川を中心に田畑に恵まれ、その立地を活かして商業や工業が栄え、特に地場伝統産業である和さらし・ゆかた産業が発展してきたところです。また、行基（奈良時代の僧侶 現在の堺市生れ）が築いたといわれる土塔をはじめ、焼き物のルーツとなる須恵器の窯跡などの歴史的文化遺産が多く残されています。

中区
 人口120,186人
 世帯数44,123世帯
 面積17.94Km²
 平成18年8月推計



CHECK UP 堺《中区役所》

(協力：企画総務課 長田純一主幹 三井節子さん 宮林健二郎さん)
 中区は、まちづくり推進事業として「中区域まちづくり考房」を発足し、地域力の向上をめざし、地域住民と行政が一体となってまちづくりを推進されています。

考房の立ち上げには、まず市職員が区内の地域活動家40名へのヒアリング調査と自治会長104名へのアンケート調査から始められ、地域における住民による活動が、地域を活性化させ安全で快適なまちづくりに重要な役割をはたすこと、そして行政は地域の活動のバックアップをしていくことなどの話し合いの場をもち、地道に住民の理解を求めてこられました。

発足から3年を迎えた今年7月には中区防災まちづくりフォーラムを開催するなど、独自の活動を進められています。岸和田市や宝塚市などとも交流をもたれ、「他市の良いところを吸収して住民の皆様が中区に愛着をもってもらえるような活動を続けていきたい」と語られた長田主幹の目はとても輝いていました。今後の中区の活動に“CHECK UP!”です。

CHECK UP 堺《中文化会館（ソフィア・堺）》

(協力：堺市教育文化センター 中文化会館 館長代理 武田 博氏)
 堺市教育文化センター・中文化会館（通称ソフィア・堺）は「集う・創る・楽しむ」文化活動の場としてまた教育に関する研究及び教職員の研修などを行う複合施設です。施設には、図書館、資料館、レストランをはじめ研修室やギャラリー、クッキングルーム等があり、文化教室などが開催されています。

また、プラネタリウムと屋上には関西最大級の天文台が併設されており、プラネタリウムでは季節の星空紹介や子ども向けのファミリー番組を放映しています。また天文台では、惑星などを口径60cm反射望遠鏡で観望していただくよう、原則、毎週金曜日、天体観察会を行っています。大人の方でも十分楽しめる施設です！この週末は近場で天体観察というのはいかがですか！！



住所 中区深井清水町1426番地 有料駐車場有
 TEL 072-270-8110
 休館日 月曜日、祝日の翌日（その日が土～月曜日のときは火曜日）、年末年始

目次

特集 堺	1~2	あれこれ雑記帳	6
樹から木までの散歩道	3	お知らせコーナー	7~9
ダイバーである幸せ	4	LRT関連記事	10
身近な architect design space	5	編集後記	11

堺こだわりスポット(中区)

堺は昔から商人の町として栄えたところ。だから必然的においしい物や楽しいところが数多くあります。そんな中から編集部が独断で厳選したお店や施設を紹介いたします。

堺共同漬物株式会社

口にすると水があふれだすほどのみずみずしさが特徴の“みずなす”は、大阪府南部の泉州地域を中心に生産され、とてもデリケートで流通が難しく「みずなす、大和川越えず」といわれたほど。その“みずなす”との出会いに感動し、南大阪の名物になると確信したのが林野社長とみずなす漬の歴史のはじまり。昔ながらのこだわりと品種改良を重ねた自慢のみずなす漬は5月～7月ごろまでご賞味いただけます。“みずなす”の他にも大阪の伝統野菜、毛馬キュウリの浅漬をはじめ、日本人の食卓には欠かせないお漬物の発展と創造を目指し、商品開発を続けておられます。



中区深井2284-1
 TEL 072-237-2421
 ※上記本社・工場では店頭販売は行っていません。

食・安心館（ナチュラルガーデン）

鹿児島県の田舎を子供たちに体験させてあげたいという想いからはじまり、そこで食べた野菜がおいしかったという体験者の声が有機野菜の市場となって実現。“新鮮野菜がおいしく食べられるレストランがあったらいいな”のリクエストに応え、今年3月、自然食バイキングレストラン「ナチュラルガーデン」がオープンしました。旬野菜を素材に健康になれるメニューばかりが約60種類揃い、連日満席の大賑わい。“あったらいいな”はまだまだ進化を続けていきそう。



中区深井水池町3270 TEL0120-328-510
 野菜市 毎週水・土・日曜日10:00～
 レストラン11:00～15:00
 大人1,575円 小学生840円 100分時間制
 定休日 火曜日 駐車場完備



クラブ・ヴィアージュ

堺にいながら異国の雰囲気味わえる店内は、時間を忘れゆっくりくつろげるほど居心地が良い。メニューは某料理対決番組で勝利したフレンチの巨匠フィリップ・バットン氏が監修したピザ専用釜で焼き上げる魚料理や肉料理など。まさに本格地中海料理！今年3月のオープン以来、地元の主婦層からの口コミが評判を呼び、ランチタイムは常に大盛況！また、ディナータイムには生演奏も流れ、ロウソクの灯りに包まれて、洗練された地中海料理に舌鼓をうてば、至福の時間を過ごせそう。ただし貸切などがあるので事前にご予約を。



泉北一号線を上野芝から南に進み、左側に見える中世ヨーロッパを想わせる建物が目印。
 中区深井清水町1351-3 TEL072-277-8115
 ランチ 11:30～13:30 (ラストオーダー) コース1, 200円～
 ディナー 17:30～20:30 (ラストオーダー) コース2, 000円～



次号（新年号）の予告！

次号は「東区」をCHECK UP。耳寄りな情報がありましたらぜひ編集部（担当：小林・柳下 TEL:072-361-2670）までお寄せください。

樹から木までの散歩道

-- 柿 --



ふるさと切手 福岡

今からの季節では自宅から木材団地までの通勤途中で柿の木がたわわに実をつけているのを見ることができる。

柿は一般には中国原産とされ、わが国には古代に渡来しそれを果樹として改良普及したと言われているが、岐阜県瑞浪市で第三紀層から果実の

化石が発見されてから日本原産説もでてきた。

柿の名前の由来は赤い実が成る赤木（アカキ）、紅葉の色と果実の色の赤黄（アカキ）などから転化したといわれるが、決め手はない。英名はそのまま、外国でもそのまま通っている。学名の *Diospyros kaki* は *Dios*（神）+ *pyros*（果実）の意味である。

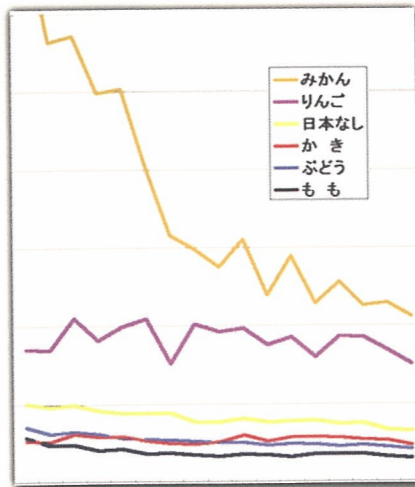
柿の生産量を調べてみたら、面白い事実気づいた。昭和48年からの統計があるが、みかん、りんご、ぶどう、ナシなどみんな大幅な減産になっているのに柿だけがほぼ一定なのだ。

柿の葉はビタミンA・Cが多く含まれているが、ビタミンCは、緑茶の3倍以上、レモンの20倍も含まれている。野菜に含まれるビタミンCは熱を加えると破壊され、含有量が半分になるが、柿の葉は熱に強いので、熱を加えるお茶や食品でも失われにくい。高血圧、動脈硬化、成人病の予防としても昔から利用されている。生で食べるか、天ぷらや混ぜご飯、煎じ汁で飲んだりされてきた。川端康成の伊豆の踊り子では「船中で蜜柑はよくないが、柿は船酔いにいい」とでてくる。

木材としては柿ほど価格差の激しいものはない。黒色の縞や濃淡があるが、黒色で覆われるものを黒柿という。大きな材でも黒柿でなければタダ同然だし、黒柿となれば、小材でも高価になる。桑とともに銘木の双壁だが、現在では良質の黒柿は少なくなっている。床柱、高級家具、小物に利用される。

柿は木材だけでなく、日本では果実、食品として文学や産業に大きな影響を与えてきた。

渋ガキからは柿渋が採れ、自然素材・食のブームでネットでもさまざまなショップが販売している。



愛用の黒柿の靴ベラ（黒柿としては並材）

江戸時代には柿渋生産は重要産業であった。乾くと、ほとんど水に溶けないので強度の補強、防腐防水と耐久性のため、布や紙をコーティングするのに使われた。雨傘、本の表紙、のれん、うちわ、和紙のうるし下地、金箔を和紙に貼るときの接着剤などに使われた。大量に利用されたのは漁網や清酒の生産時に使われた。

当社の木造事務所の外壁にはこの柿渋をベンガラと混ぜて塗っていた。この建物は今はないが、交差点に面した敷地にある石柱の文字は墨汁に柿渋を混ぜて塗ってある。これはもう35年も経っているが、風雨に耐えてまだ少し残っている。



日本の和菓子は柿の甘さを基準にして決めたとされている、そのため日本の甘さはほどよい甘さになっていると思う。京都の料亭などでデザートに出てくることがある。イタリア料理などでも時々出会うことがある。白ワインを少ししたらしてあり、とても美味しい。

柿は日本の文学では漱石を始め多くの小説で出てくる。一番多く登場させているのは有吉佐和子さんだろう。「華岡青洲の妻」ではすべてカキノキと動物の埋葬についての話で暗いイメージとなっているが、「複合汚染」や「紀ノ川」ではや主人公の柿への愛着や和歌山の農村景色として描かれている。

秋の情景を現すのに柿ほどふさわしいものはない。各地の農家の周りには必ず柿が植えられ、樹、果実、干柿などが美術工芸品の題材にも多く描かれてきた。

昔の農家では、梢の先に柿が一つだけ残している事があるが、木守（きまもり、こもり）、木守柿（きもりがき）という習慣で、神への感謝と言われている。また鳥のために残して置くとの解釈もある。このような習慣は果実に限らず、動植物、鉱物、水産資源や焼畑の仕方でも世界中であったのに、現代では根こそぎ集め収穫するようになった。自然への感謝や永遠の継続を願うという、心の余裕がなくなってしまったのだろうか。

中川木材産業(株) 中川勝弘

～ダイバーである幸せ～ サング再生移植活動

メンバーの提案から、2002年7月に始まったこのプロジェクト。

ガレ場と化してしまったもとサンゴ礁域に、サンゴを再生させようというものです。

和歌山県南部町の沖合に浮かぶ「鹿島（かしま）」。水深5メートルに群生するテーブルサンゴ。サンゴが育む栄養分を求めて、魚たちが集まってきます。数年前まではリトル沖繩とよばれるほど美しいポイントでしたが、近年地球温暖化による水温の上昇や、生活排水の流入、ダイバーのスキル不足によるサンゴの破壊などが原因と考えられるサンゴの壊滅が進み、ガレ場となってしまいました。



このサンゴの死滅は、人間の生活が影響しているのは間違いなさそう。

そこで、人間が破壊したサンゴは人間の手で復活させようと、海中の環境について最先端の位置にいる、一般のダイバーたちの手で再生させようという企画です。



サンゴ再生作戦はいたってシンプル。まず、鹿島から数キロ離れた海底でサンゴのかけらを採取します。これらのサンゴは台風の影響で砕けてしまったものですが、完全に死んでいるわけではなく、根をはる場所さえ与えてやれば、また生き返る可能性が高いものたちばかり。このサンゴを鹿島ビーチに「移植」して再生させようという訳です。サンゴを抱えて鹿島の海に潜り、接着剤で岩に固定し、あとは、サンゴがサンゴ自身の力で根付くのを待つ。成長とともにサンゴは岩場に定着し、自然と魚達の住処になり、2ヶ月もすればその成長は目に見えてわかるようになります。その様子を定期的に写真などに収めていき、大学や関係機関と連携し、研究に役立てます。いつかは昔のような美しいサンゴ地帯に戻ることを願って・・・



「地球環境保護のためにプロジェクトに参加する」もちろんそれは素晴らしいことです。でもそんなに堅苦しく考えなくても、自分でサンゴの移植をして、成長を見守



る。海の中に自分の空間が出来上がる・・・そんなことを想像して楽しみました。サンゴだらけで、本当に癒されましたよ。

3年後の2005年には、たくさんの方々の思いで、元のような美しい「鹿島」に戻りました。

(株) サンヨーメディカル 潮田由子



安心と安全のコンサルタント
損害保険・生命保険のことなら

保険代理店
有限会社 合同保険センター

堺市堺区向陵中町3-2-6
Tel 072-257-8751
Fax 072-256-1118

マット・モップ・清掃用具一式
レンタルします。見積もり無料!

株式会社 **ダイキチ**

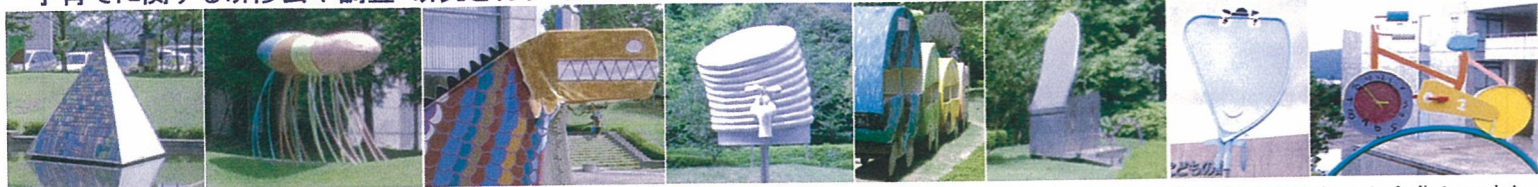


商品本部
〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町2-11
TEL:0724-38-4500 FAX:0724-38-4455
南大阪営業所
TEL:0120-208005
FAX:0120-400894
担当窓口：松井 亮二



兵庫県立 子どもの館 <http://Kodomonoyakata.jp/>
 〒671-2233 兵庫県姫路市太市中915-49
 TEL:079-267-1153 FAX:079-266-4632
 開館時間:9:30~16:30 休館日:毎週火曜日及び月の末日
 なんと駐車場も、入館料も**無料!**

子どもの館は、平成元年7月に幼児教育センターを内部組織に持つ大型児童館として姫路市の桜山湖畔に開館しました。乳幼児から小学生、中学生、高校生まで、子どもたちは大自然の中で遊んだり、演劇活動や自己表現活動を行い自然と人と文化のふれあいの中で、豊かな個性や温かい心を育む為につくられました。また、兵庫県内の児童館の中核施設として、子ども達の健やかな育成に関わる機関や団体の拠点として、幼児教育に携わる指導者や親たちが相談や学習に訪れ、子育てに関する研修会や調査・研究を行う「場」としての機能を持ち、親子が共に成長するための事業を展開しています。

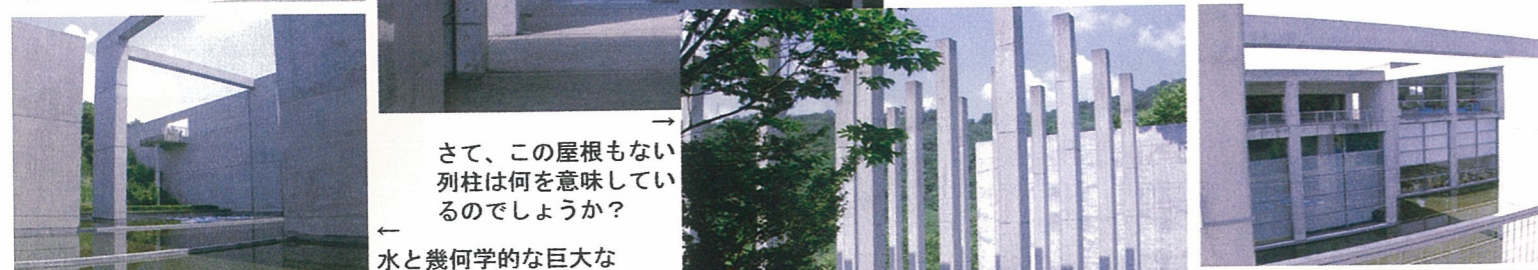


敷地内には世界の子供達が思い描いたものを忠実に再現したモニュメントがあちらこちらに見られます。子供の想像力はなんと豊かですね。



← 建物の中央付近の外部吹き抜け。通路はまるで迷路のように入り組んでいます。

→ 桜山湖畔の豊かな自然の中にこの建物はたえず佇んでいます。



← さて、この屋根もない列柱は何を意味しているのでしょうか?

← 水と幾何学的な巨大なコンクリートの壁。安藤氏の独特の空間表現です。



← 木とのふれあいワールドでは、いろんな木の道具やおもちゃに触れ合えることができます。

← 大きな木をくり抜いた木のトンネルです。子供が喜んで遊びます。



← 児童図書室には、世界中のたくさんの子供の本があります。自由に読む事ができる、素晴らしい施設です。



← 別館の工作館です。ジグソーやサンダーなどの機械があり、様々な工作ができるようになっています。

あれこれ雑記帳

『ハロウィンって、何?』

(その八)

クリスマス、バレンタインデーに続き、日本で三番目のカタカナイベントに成り上がりそうなのがハロウィンです。でも、前の二つは今や日本人の国民的イベントになっていますが、ハロウィンとなると、さっぱりその意味するところや由来がわかりません。せいぜい西洋のお盆ぐらいをイメージするのが関の山です。バレンタインデーだって、元々の意味から離れ、現在は会社や学校で女性が義理チョコを渡すことがメインになっており、これはお菓子メーカーの陰謀やと疑ってみたり、更に商魂たくましく日本人はホワイトデーなるもっと意味不明のお返し日を作ったりしますので、意味なんかわからなかったとしても、それはそれでいいやかと変に気安く納得したりします。そこで今回は、ハロウィンを調べてみましょう。

物の本によりますとハロウィンとは、日本のお盆にあたる「万聖節」(キリスト教で毎年11月1日にあらゆる聖人と殉教者を祈念する日)の前夜祭のことだそうで、古代ケルトが起源だそうです。古代ケルト暦では10月31日が1年の終わりの日で、秋の収穫を祝い11月1日の元旦と冬の始まりを迎える祭りの日です。また夜には死者の霊が家に帰ると言われています。(だからお盆なんや?)

さあ出た、このケルトが不気味な存在です。ケルト人というのは原日本人である縄文人みたいな民族で、自然物崇拝や多神教宗教と、奈良の石舞台みたいな巨石文化やケルト文様など現代まで伝わるデザイン様式(バイズリー等)など独特の文化を持っており、今はアイルランドなどに住んでいる人たちですが、祖先の霊や妖精や悪霊などの存在を信じており、これだけでもオドロおどろしいのに、これにあとからやって来たキリスト教がミ

ックスされて、死者が魔女や妖怪、黒猫になって地上に現れ騒ぎを起すので、それから身を守るため仮面をつけ扮装し魔除けの焚き火を炊くという現代のハロウィンになったみたいです。ですから、アイルランドでは今でも毎年ハロウィンの夜には何百もの焚き火がともされます。

アメリカではハロウィンは子供たちの大晦日と呼ばれています。当日の夜になると、子供たちは思い思いにグロテスクな仮装や奇抜な格好をし、「トリック オア トリート」(何かちょうだい、さもなきゃ悪さするぞ)と言って近所の家の玄関を叩いてはお菓子をもらい歩きます。この恐ろしい格好をするのは、家の周りを徘徊し人間に取り付こうとする悪霊達はその姿を見て驚いて逃げるようにするためだそうです。そして、皆様お待ちかね、オレンジ色の大きなかぼちゃをくり抜き顔を彫った提灯(ジャック オー ランタン)ですが、これはアイルランド人がアメリカに移住して以後、くり抜きやすいかぼちゃを使ったのが始まりで、本国のアイルランドでは今なお本来のかぶを使っているようですが、これを悪い霊を怖がらせて追い払うために家の戸口の上がり段に置くのだそうです。

そうか、それだけの意味やのに、なんかハロウィンゆうたら、プラスチック製のかぼちゃのランタンや、ハリーポッターに出てくる魔女やほうきなどの玩具が、おもにソニープラザやUSJなどアメリカ関係のお店で、これでもかという位に並べられています。でも、おもちゃを売るだけやったらハロウィンは日本では今のところ大きなビジネスチャンスにはならないように思いますが、そこは日本人、きっと裏ワザでびっくりするようなハロウィンの楽しみ方(儲け方)を作るんですわ、きっと。



だれにでも守りたいものがある
 だからこそ身近で手頃なセキュリティを
 機械警備から総合メンテナンスまで…
 <安心と安全>で確実な警備を提供いたします
東洋テック株式会社
 南大阪支店 TEL 072-221-0753

printing
 キクイ印刷工芸社
 伝票・封筒・シール・カラープリント出力
 〒583-0852 大阪府羽曳野市古市6丁目12-9
 Tel.072-956-6881 Fax.072-956-6883
 E-mail kikai@kawachi.zaq.ne.jp

お知らせコーナー

組合からの報告

7月26日(水) 飛翔会が研修会を実施

7月度事業として、大阪市内で研修会を実施した。
今回は、木材業界の先輩である増田真一氏〔増田産業(株)社長〕を講師に招き、“あれこれ雑感”と題し、雑談を交えた講演会を行い、参加者は企業経営にとって有益なよもやま話に聞き入った。

9月22日(金)～25日(月) 飛翔会が海外研修旅行を実施

当会では、標記日程でベトナム社会主義共和国の視察研修旅行を実施した。
今回の研修は、現地邦人銀行支店長による講演会や最新工業団地・日本語学校他の視察見学を中心としたもので、参加者(15名)は、インフラ整備はまだまだ遅れているものの、社会主義国でありながらバイタリティー溢れる労働力により徐々に市場経済へと移行する同国の現況をかいま見た。



<現地邦人銀行支店長による講演会>

開催日時：9月22日(金) 午後4時30分～同6時00分
開催場所：三菱東京UFJ銀行ホーチミン支店
講師：同支店 中川卓男 支店長
講演テーマ：ベトナムの経済環境と外国企業の進出状況について

<最新工業団地の視察見学>

見学日時：9月23日(土) 午前9時30分～同11時30分
見学先：『V S I P工業団地』
(ホーチミン市内より北側約30km)
見学概要：工業団地事務局及び工業団地
(進出外国企業約250社)の見学

<日本語学校の視察見学>

見学日時：9月23日(土) 午後2時00分～同3時00分
見学先：『現地日本語学校』(ホーチミン市内)
見学概要：日本での研修を目的に、ベトナム人研修生派遣会社が運営する『日本語学校』(16クラスの約320名)の見学

8月23日(水)～24日(木) 集団健康診断

組合会館2階大会議室において、健康診断及び胃ガン検診を同日に行い34社427名が受診した。

7月25日(土)～8月5日(土) 記憶法セミナー

協同組合教育研修委員会の主催により、標記セミナーを2日間に亘り開催し、受講者のかたから感想をいただきました。

記憶法セミナーに参加するにあたり、最初は自分にも出来るのだろうかとかかなり不安でした。実際に参加してみると、その不安もどこへやら。誰にでも出来ることを一つずつ訓練していきました。受講前には長く感じていた2日間もあっという間に過ぎました。

イメージを膨らませ、記憶に結びつけていく。一度イメージ化出来ればこんなにも簡単に記憶にとどめることが出来るのだと改めて実感しました。

小田全宏先生の説得力とパワーで、バシッと頭の中に入ってきたような感じでした。記憶法に一番大切なのは記憶力なんかではなく、“興味を持つこと”“集中すること”“感動を味わうこと”なんだと教えて頂きました。これからの日々の生活の中でも、教えて頂いたことを活かしていきたいと思っています。

このような講習を受講できるきっかけをくださった、木材団地協同組合さんと、参加させてくれた会社さんに感謝いたします。

アキツ工業株式会社 宮川 わかこ

8月29日(火) 平成18年度外国人研修生受入れ

今年度受入れの外国人研修生10名(受入れ企業4社)が入国し、8月30日(水)に協同組合において開講式を行った後、9月1日(金)から2週間に亘って集合研修(座学)を実施した。

現在、当協同組合では、今回、受入れした10名の研修生のほか、33名の技能実習生が日本の産業・職業上の技術、技能、知識の修得をするための実習を行っている。

お知らせコーナー

9月16日(土) 「よく見よう郷土塚の会」いけ花展表彰式

塚の特産品をいけ花の花材に取り入れてみよう。特産品を通じて堺市内の中高生の皆さんに、郷土塚をもっと好きになってほしい。こんな願いをこめてみささぎ流の片桐悦子先生がはじめられた「よく見よう郷土塚の会」主催のいけ花展は、今年で12回目を迎え、今回は、大阪木材工場団地協同組合が協賛して「木のぬくもり、花の輝き」をテーマに堺高島屋において8月31日～9月5日の期間に開催されました。

58人の方が作品をエントリーし、その中から『堺市長賞』をはじめ13の賞が選出され、協同組合からは掲載写真の作品に『理事長賞』を贈りました。



浅香山中学校一年 小山純子さん

「雨水本管」の堺市への公共移管

当協同組合では、堺市と美原町との合併を機に団地内道路の公共移管を始め工場団地内のインフラ整備を推進しておりますが、この度、その一環として団地内(住宅地域も含む)の市道敷地に埋設されている雨水本管を8月28日付で堺市へ移管いたしました。

今後の同雨水本管の維持管理は、堺市が行うことになります。

木栄会からの報告

7月9日(日) 市民親睦ソフトボール大会

7月度事業として、美原ソフトボール連盟主催「市民親睦ソフトボール大会」に、9社13名で参加し、1回戦「ジョーズ」と対戦したが、健闘もむなしく1回戦で敗退した。

7月13日(木) 親睦ボウリング大会

7月度事業として、チヨダスタジアムでボウリング大会を開催した。参加者は、ベストスコアを目指して賑やかに各レーンでプレーをし、終了後は、成績発表を行ない、賞品を獲得した人もしなかった人もそれぞれに、楽しい夕べを過ごした。(参加者17社50名)

8月9日(水) 浅野副理事長との懇談会

8月度事業として、協同組合 浅野敏行副理事長(株アサノ社長)を囲んでの懇談会を開催した。

第一部では、「異文化に触れて視野を広げよう」と題した講話を聞き、第二部では、形式にとれわれず会食をしながら、フランクに語り合った。(参加者15社34名)

9月17日(日) 日帰りバスツアー(USJ)

9月度事業として、今回で3回目となるユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの親睦バスツアーが開催され、19社82名が参加した。



開催前は、台風13号が西日本に接近中ということで心配されたが、当日はその影響もなく、開園と同時に各アトラクションは、長蛇の列で、60～90分待ちと、今だ衰えぬ人気であった。

また、期間限定の“ユニバーサル・ワンダー・ハロウィーン”の開催期間中で、会場内はハロウィーンムード一色で盛り上がり、夢いっぱいショーやパレードに大興奮するなど楽しい1日を過ごした。

中には、閉園まで残って、ロマンチックな夜のUSJを楽しむ参加者もいた。



小山園で初めて知ったお茶の味 日本茶は世界が目目
職人技で磨き上げた 納得の老舗
創業慶応元年 藤井寺営業所 本物志向の味は秀作
お茶は心のふる里

健康を造り出す・カテキンやミネラル豊富な静岡銘茶
少量からでもOK!お気軽にお問い合わせ下さい。藤井寺市道明寺1-9-31

☎0120-373268 TEL FAX:0729-55-4920
社団法人 日本茶葉中央会認定会員 第A20510号

(株)オートシステム
タイヤ・ホイール専門店
国産・輸入・多種取り扱い。
安心してお買い求めいただけます。
堺市美原区木材通2-1-39
Tel 072-363-0772

中古車・車検・キズ直しお任せ下さい!
安全を願い、お客様のカーライフをサポートする
昭和シェル石油株式会社特約店
株式会社 オクヒラ
木材団地前店
〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4-9-24
TEL(072)362-5063

松下電器代理店・関西電力認定店
電気設備工事一式・電化製品販売、修理
有限会社 ヤ7 / 電気
本店 〒587-0022 大阪府堺市美原区平尾463-1
TEL 072-361-7155 FAX 072-361-5884
きたのだ店 〒599-8126 大阪府堺市東区大美野6-5
TEL 072-230-0121 FAX 072-230-0131

お知らせコーナー

美原団地協議会からの報告

会員企業の異動

▽新規加入
上鉄工業株（代表者 上野政孝氏）7月1日付
株トーエイアドバンス（代表者 遠藤長俊氏）7月1日付

▽脱退
石井運輸株
株エムエアドバンス
株クラヤ三星堂
株ナガオカ

事務局からの情報

「全員例会」開催案内

開催日：平成18年11月11日（土）～12日（日）
開催場所：鳥取・米子方面
宿泊場所：皆生温泉「華水亭」
内容：協同組合の上期事業報告及び（株）大阪木材団地サービスの株主総会

ガイアシンフォニー第4番・5番上映会ご案内

“ウッドリーム友の会”12月度事業として、第4番・5番の同日上映会を開催いたします。
開催日：平成18年12月3日（日）
上映時間：第4番 午前10時～（2時間10分）
第5番 午後2時～（2時間13分）
開催場所：組合会館 2階 大会議室

「新年互礼会」開催案内

開催日時：平成19年1月16日（火）午後3時～
開催場所：組合会館2階大会議室
新春講演会講師：藤田太寅氏（関西学院大学総合政策学部教授・NHK解説委員）
次等第の詳細については、後日ご案内させていただきます。

「木材団地まつり」開催案内

今年の「木材団地まつり」は、本年4月1日に堺市が政令指定都市に移行したことを記念し、堺市政令指定都市移行記念事業“第22回木材団地まつり”と名づけ下記概要で開催いたします。
特に今年度は、『木と遊ぼう』をサブテーマとして、「木の温もり」と「木の優しさ」を来場者に体感していただける各種イベントと昨年に引き続き堺市伝統地場産業の他、新たな堺市特産品等の出店も企画しております。ぜひ、多数ご来場いただき「木の良さ」を体感して下さい。お待ちしております。

- ◇開催日時
平成18年10月28日（土）午前10時～午後5時
10月29日（日）午前10時～午後4時
- ◇開催場所
「メッセ美原」
堺市美原区木材通一丁目10番1号
（協）大阪ツキ板センター内
- ◇主催
第22回木材団地まつり実行委員会
【構成：大阪木材工場団地（協）・堺市】
- ◇主なイベント
●木製品即売会 ●堺市伝統地場産業・特産品コーナー
●木とのふれあい体験コーナー [木製探検アスレチック・原始火おこし体験・丸太切り体験・木工教室（主管：日本日曜大工クラブ大阪支部）・ガーデニング教室（主管：（財）堺市公園協会）] ●チェーンソーアートと作品即売（チェーンソーアーティスト塚原吉智氏ほか）●よさこいソーラン踊り（主管：大阪メチャハッピー祭実行委員会）●飲食コーナーなど

「ISO14001」の近況活動状況

協同組合事務局では、昨年3月に『ISO14001（環境マネジメントシステム）』を認証取得以来、環境負荷軽減のための諸活動と、構築システム（環境マニュアル）の維持・継続的改善に取り組んでいます。
その活動の一環として、9月9日「インテックス大阪」で開催された“2006ニュー環境展”を視察した。
“ニュー環境展”は、“人と地球の未来を守る環境革命への挑戦”をテーマに、9月7日から9月9日にかけて開催され、この分野をリードする延べ187社（団体）が、深刻化する地球環境の負荷低減のための廃棄物処理機械・車両・薬品等々を展示しその啓蒙をはかっていた。

美原団地協議会からの情報

“木材団地「不法・迷惑駐車」撲滅運動”の推進状況

美原団地協議会では、本年1月から木材団地内の路上駐車問題の解消に向け、“木材団地「不法・迷惑駐車」撲滅運動”に取り組み、会員企業のご理解と協力のもと、木材団地内交差点の「迷惑駐車」は、当初に比べ大幅に改善され、大きな効果として表れています。
また、9月27日（水）に開催した第2回社内車両管理者連絡会議（参加者66社75名）では、所轄の黒山警察署から草竹交通課長を招き、本年6月1日から改正強化された新しい違法駐車取締り制度の説明と現況、今後の計画などについての情報が提供された。
この運動をもう一歩推し進めるために、今年度（期間：平成18年6月から平成19年5月）は、『運動の更なる推進と内外へのアピール』をスローガンに掲げ、「めいわく駐車追放推進工場団地」の看板塔を団地内主要箇所に設置し、内外に周知・アピールすることを計画しています。

ゴムタイヤ式 LRT (Light Rail Transit) トランスロールに乗ってきました！

堺浜にLRTの試験線プロジェクトがあります。このプロジェクトを進められている三井物産交通システム（株）の小山調査役にその開発についてお話を伺ってきました。

小山調査役によるとLRTとは、一言で表現すると次世代の路面電車であるが、日本で路面電車というと、どうしてもチンチン電車をイメージしがちなので、新しい時代の乗り物としてあくまでも「LRT」の言葉にこだわっている。その本質的な違いは、チンチン電車はただの輸送手段であり、LRTは人を運ぶ発想だけではなく、“街づくり”が基本の理念であること。ただ、輸送のために環境に優しいだけの利点でLRTを走らせても、車線を減らし渋滞を引き起こし最終的には町の邪魔者になってしまう。LRTを導入することを都市計画のひとつとして、行政や市民が一体となって、時間をかけて議論する必要がある。・・・etc。

当初、「LRT」と「チンチン電車」は似たものだと思っていましたが、本質的なその違いを感じるとともに、このことを多くの人達に伝える必要があるのでは・・・と強く思いました。

そして、いよいよ、ここで試験運転されているLRT(トランスロール)と初対面。まずは近未来を感じさせる美しいデザインにびっくり！超低床なので、座席にすわって外を見ると、人の目線と同じ高さになるので、車内にいながらウィンドーショッピングもできそう！もちろん、段差がなくバリアフリーなので、車椅子も支障なく乗りこむことができます。

このトランスロールは中央の一本のレールをとらえてゴムタイヤで走るの、コンパクトな走行が実現でき、坂道、急カーブの多い町でも威力を発揮できるそうです。フランス製なので、日本で走行となると、かなりの改良が必要になるそうですが・・・。今を生きるものとして、次代に繋ぐ責任として、「人と暮らし、そして環境にやさしい街づくりの一環としての移手段」という新たな発想を受け入れることが、今一番必要なことかもしれません。

想像してみてください。ゆったりと走るLRT。にぎわう街並み。車専用の道路・・・そんな街に住んでみたいですね。事の発端は、とにかく無条件に「乗りたい！」の一心で関係各位のご協力を得て、実現に結びつけることができました。

ご協力をいただきました皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

あたらしき大地編集部 小林 記



日時
平成18年

10月28日(土)
AM10:00~PM5:00

10月29日(日)
AM10:00~PM4:00

第22回

堺市政令指定都市
移行記念事業

木材団地 まつり

木と遊ぼう!

お問い合わせ

大阪木材工場団地(協)
TEL:072-361-2670
<http://www.wood.or.jp/>

イベント

- 木製品即売会
- 堺市地場産業コーナー
- 木とのふれあい体験コーナー
- ・木製探検アスレチック
- ・原始火おこし体験
- ・丸太切り体験
- ・木工教室
- ・ガーデニング教室
- よさこいソーラン踊り
- チェーンソーアート

会場

メッセ美原

堺市美原区木材通1丁目10番1号
(協)大阪ツキ板センター内



主催

第22回木材団地まつり実行委員会
構成/大阪木材工場団地協同組合・堺市

協賛

近鉄バス(株)・南海バス(株)

後援

(社)大阪府木材連合会・大阪メチャッピー祭実行委員会
 (社)堺観光コンベンション協会・(財)堺市公産協会
 (財)堺市産業振興センター・堺市美原商工会・堺商工会連所
 日本日産大工クラブ大阪支部
 週刊産材新聞社・東洋木材新聞社
 (株)日刊木材新聞社大阪支社・日本建材新聞社
 (株)日本林業経済新聞社・林業産材新聞社
 (株)林業新聞社 (種別アイウエオ順)

★7月号パズル当選者★

★クオカード★

- ◆久保聡子 アキツ工業(株)
- ◆新井香織 ステンレスパイプ工業(株)
- ◆古谷嘉子 クボタ精機(株)

表紙写真作者の紹介

日本写真家協会会員 ツダヨウホ
日本写真芸術学会会員 津田洋甫先生
大阪市内在住

発信元 大阪木材工場団地協同組合
堺市美原区木材通4-1-1
TEL 072-361-2670
FAX 072-361-0629

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

この夏、さわやかな感動を与えてくれた高校球児たちのドラフト会議が9月25日に行われた。注目のハンカチ王子が大学進学の名門を選んだことで、マスコミの過熱報道も少し治まっていたように感じたが、それにしても、悲喜こもごもの会見報道を見るにつけ、野球一筋に青春時代をかけてきた子供たちの夢が、大人たちが会議室で考えた制度で左右されるなんて切なすぎると思うのは母心なのか？いずれにしても彼らの将来がプロ野球界で満開の花を咲かせてくれることをただ祈るのみです。頑張れ!

各社のPR・個人情報何でも結構ですので、どんどん情報をお寄せください。

FAX 072-361-0629 担当:小林